

流通・販売店社 基本契約書

株式会社丸本工業所（以下甲という。）と、_____（以下乙という。）は、下記の事項に本日合意し、本契約書を締結する。

第1条（目的）

本契約は、甲の活動主旨に賛同し且つ甲の活動地方内において連携し、乙の有する橋梁改良工事に関する資・機材を提供する事を目的とする。

第2条（資格）

橋梁関連の資・機材流通を営み、甲の認定する資・機材にて、橋梁改良工事に製品納入実績のある法人企業。

2. 活動範囲は、甲の定める地方区分とする。

3. 認定資・機材とは、甲が定める橋梁改良に関わる関連資・機材とする。

（認定資・機材：コンクリート保護、鋼材防食、その他特殊工法、等に使用）

4. 1名以上の有資格者又は担当者(実務経験者)を選任する。

第3条（権利及び義務）

乙は、甲が所有又は提案する工法及び情報を利用・活用することが出来る。

2. 活動地方内において、工法及び認定資・機材の営業活動を行い、且つ乙の有する資・機材をもって協会会員からの受注ができる。

活動地方；東北地方一円

3. 活動地方内において、分野別競合がないことを原則とする。

4. 別途、橋端改良技術協会（以下協会という。）に加入し、組織的活動に参加する。

5. 協会加入に必要な負担金を支払うものとする。

第4条（契 約）

乙は、甲及び協会へ以下の各号を履行することにより契約の締結とする。

1. 本契約の取り交わし。
2. 協会入会申込書の提出。

第5条（契約解除）

甲は乙が以下の各号に該当したときは、催告なくして本契約を解除し、これによって被った損害賠償を請求できるものとする。契約の解除とは第3条の権利を失効し、協会の退会に繋がる。

1. 本契約に違反した場合、若しくは著しい背信行為があったとき。
2. 破産、和議、特別清算、会社整理・再生・更正等の法的手続きが執られたとき。
3. 第6条による秘密保持事項の漏洩及び反社会的行為が判明したとき。
4. その他、理由の如何に関らず協会を退会したとき。

第6条（秘密保持）

甲又は乙が、一方が秘密であることを明らかにし、相手方に書面にて提供した情報及び資料は、第三者に開示又は漏洩してはならない。但し、双方による書面にての了解事項及び相手方より開示を受ける前から既に知得し、又は公知のものはこの限りでない。

第7条（契約期間）

本規約は、平成 年 月 日より2年間効力を有するものとする。但し第5条に抵触しない限り、又は甲乙いずれかから相手に対し、期間満了3ヶ月前迄に契約終了の書面による通知にて双方合意をしたとき以外は、自動的に2年間延長されるものとし、以後も同様とする。

第 8 条 （ 契 約 終 了 ）

本契約が第 5 条及び第 7 条により契約終了したとき、すべての権利義務が自然消滅することではなく、甲・乙双方に契約・業務上に関連した残務が存在するとき、誠意をもって、その整理と解決を履行する義務がある。

第 9 条 （ 譲 渡 禁 止 ）

甲及び乙は、本契約により発生する双方のすべての権利及び情報を、甲又は乙の文書による承諾がない限り、他へ譲渡及び担保に供することは出来ない。

第 10 条 （ 意 思 表 示 ）

甲及び乙は、本契約の重要な事項に関して、相手方に意志の表示をするときは、すべて文書にて行うこととする。

第 11 条 （ 合 意 管 轄 ）

甲及び乙は、本規約に関して、万一紛争が生じたときは、甲の本社所在地を管轄する地方裁判所を専属管轄裁判所とする。

第 12 条 （ 協 議 ）

本契約に定めのない事項、若しくは本契約の解釈について疑義が生じたときには、その都度甲、乙の誠意ある協議にてこれを定める。

以 上

上記規約の締結を帰するため、本規約書 2 部を作成し、甲乙それぞれ署名と捺印の上、
各 1 部を保管する。

契約 No _____

平成 年 月 日

(甲)

住 所 〒981 - 3117

仙台市泉区市名坂字野蔵 19 番地の 3

株式会社 丸本工業所

氏 名 代表取締役 本吉 和康 印

(乙)

住 所 〒

氏 名 印